

## \* 新春特別企画 \* 「亥年に設立した組合に伺いました」

「亥年」は無病息災とともに守りに徹した方が良い年とされていますが…。そんな亥年に誕生した組合にこれまでの組合の歩みや今年の抱負を伺いましたのでご覧ください。

① 組合紹介など(PR含む)

② 今年の抱負を漢字一文字で

### 秋田県味噌醤油工業協同組合 【設立後72年】

①秋田県味噌醤油工業協同組合(浅利滋理事長)は、味噌・醤油の原料である米・大豆・小麦や酵母・食品防腐用アルコール・各種容器資材等の共同購買事業を行う一方、醸造技術の指導や「秋田のみそ・しょうゆ」の普及啓蒙活動を積極的に行っています。特に、昭和28年より毎年「秋田県味噌醤油品評会」を開催し、醸造技術の研鑽に励み品質の向上に努めています。

また、昭和53年から秋田県味噌・醤油業界独自のPR事業を展開し、なかでも平成8年より毎年開催している「みそ健康セミナー」は非常に好評を博しています。平成4年には当組合と秋田県醸造試験場(現：秋田県総合食品研究センター)が4年がかりで共同開発した味噌用酵母が完成。「秋田香酵母ゆらら」(組合の登

録商標)と命名。ふわっとひろがる“華やかな香り”、飽きのこない“さわやかな味”、そして光沢と照りのある“色鮮やかさ”が特徴です。さらに、平成11年には同じく6年がかりで共同開発した秋田みそ用新乳酸菌「AL-1」が完成。ますますおいしい「秋田みそ」をお召し上がりいただけるようになりました。

現在は、組合員38社の味噌・醤油の蔵独自の品質保持に役立てるため、それぞれの蔵にすみついている蔵付き酵母の発見に向けて調査を行っています。「秋田みそ・しょうゆ」はもっともっとおいしくなります。ご期待ください!



味

②当組合では、昨年「きりたんぼみそ鍋協議会」を立ち上げ、秋田みそと秋田県産食材の消費拡大を目指し、「きりたんぼみそ鍋」の普及に取り組んでいます。「きりたんぼ鍋」は、秋田で醤油が広く使われるようになる幕末期以前は、味噌が主な調味料として使われており、「きりたんぼみそ鍋」は、いわば古来伝承の復活でもあります。「きりたんぼ鍋」と「きりたんぼみそ鍋」それぞれを、楽しんで食べていただける活動を行っていきたく考えております。

### 秋田県パン協同組合 【設立後72年】

①秋田県パン協同組合(武藤真人理事長)は、昭和22年6月、秋田県パン商工業協同組合として設立し、その後、昭和24年に中小企業等協同組合法が施行されたことで、組織変更するとともに現在の名称となりました。パン製造の原材料の購買事業を行いつつ、主食としてのパンの普及推進活動を展開し、学校給食の歴史とともに歩んでまいりました。

大きな転機となったのは、昭和45年の秋田県学校給食パン協会の解散を契機に学校給食向けのパンは当組合が秋田県学校給食会との窓口になり、組合員はパン加工の委託工場となったことです。この業務は、現在でも主要な業務に位置づけられ

ています。また、昭和53年に米の消費拡大運動の一環として給食に米飯が導入されたことで炊飯委託が開始され、組合員資格に炊飯加工を行う事業者を追加することとなりました。平成22年には全県で米粉パンが導入され、現在に至っています。



[HACCP研修の様子]

安

②来年4月には食品表示法に基づく表示、完全移行への準備や義務化が近づいている食品衛生管理上でのHACCPの導入、ノロウイルスの発生防止など食品製造業として「安全・安心」な製品の提供に心掛けていきたいと思っております。

## 鹿角衛生協業組合 【設立後48年】

①鹿角衛生協業組合(豊口裕理事長)は、昭和46年に鹿角市、鹿角郡小坂町よりし尿処理業の許可を受けている中小企業者4社で全部協業組合を設立して以来、鹿角地域のし尿処理・浄化槽の維持管理業務等を通じて、地域の生活排水や産業廃棄物の処理を担う組織として、地元の方々の生活に密着した業務を行っています。

製造業など製品を供給する動脈産業の反対側面である静脈産業たる廃棄物処理という、地味で目立たない業種ですが、地域でなくてはならない重要な役割を担っており、大きな責任を負っています。特に、近年多発している想定外の自然災害発生時には、生活を継続するために欠かせない存在として、課せられた重責を果たすべく、従業員一同、日々資質の向上に努めています。

また、組合にとって貴重な財産である従業員の技能向上に向けた取組にも力を入れており、専門資格の取得に向けたサポートを積極的に行うことで、高度化かつ複雑化する業務にも対応しています。



〔従業員のみなさん〕

信

②老人世帯・一人暮らし世帯が非常に多くなっています。地域で生活弱者が暮らしていくことが困難になりつつある今だからこそ、地域で唯一の衛生環境保全に携わる専門技術集団として、行政及び従業員同士の信頼関係を維持しながら、地元の方々の生活の一助となるよう日々の声にも耳を傾け、「共存共生の精神」でサービス業たる組合の使命・役割を果たしていきたいと思っています。

## 協同組合角館町物産協会 【設立後36年】

①協同組合角館町物産協会(田口宗良理事長)は、樺細工の振興と観光の拠点施設として角館町(現仙北市)が運営している「角館樺細工伝承館」に併設したふるさとセンターにおいて、展示販売をしていた角館町物産協会を法人化し、昭和58年に設立しました。



〔角館樺細工伝承館〕

を販売拠点として、樺細工商品等を中心に販売しております。

角館は、歴史ある武家屋敷と桜並木が美しく、秋田県内で最も人気のある観光名所の一つで、四季折々の風情を感じることできる所です。春夏秋冬、それぞれの美しい風景・街並みを観に、足をお運びいただき、ぜひ、角館町物産協会で、自分のお気に入りの「樺細工商品」を見つけていただければと思います。

組合員・事務局一同、心よりお待ちしております。



〔伝承館内の店舗〕

迎

組合では、現在、武家屋敷通りにある伝承館内とJR角館駅の物産館

②伝承館内の店舗では、樺細工商品を豊富に揃えております。多くの方に物産協会を知ってもらい、来訪いただくとともに、樺細工の本当の「良さ」を知ってもらい、長く大切にお使いいただくことで、樺細工の「ファン」を増やしていきたいと思っています。